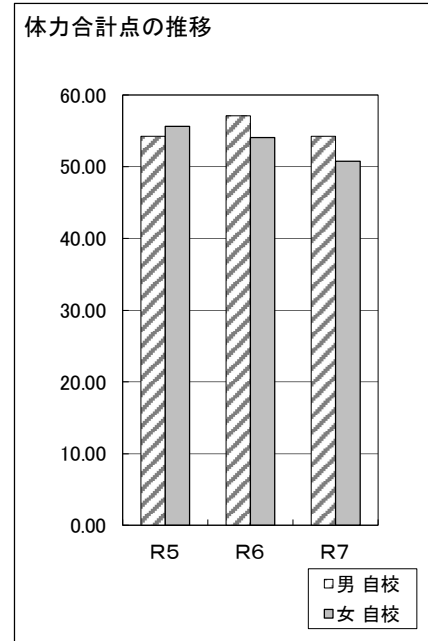
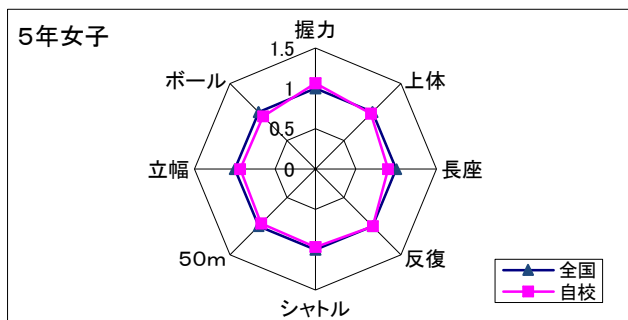
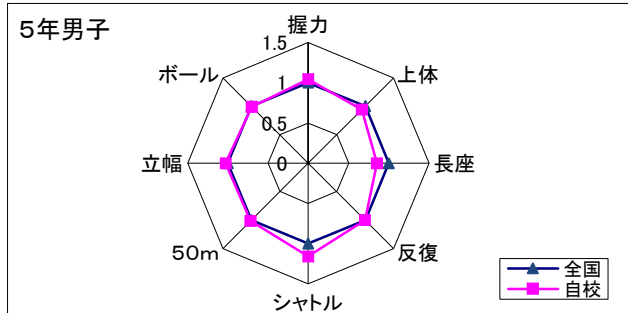


学校名	小08 阿賀小学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シヤトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	16.67	18.35	28.86	40.79	55.56	9.29	155.29	20.92	54.25	57.12	54.25
		比較	○	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	16.60	17.81	34.29	38.79	35.60	10.24	132.97	12.08	55.64	54.10	50.78
		比較	○	△	△	○	△	△	△	△	○	○	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	長座体前屈	反復横とび
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業だけでなく、毎朝の体力アッププログラムで腕振りもも上げを行い、50m走に必要な力を養った。 ・県平均を上回った割合が1学期から2学期にかけて8.3%増えた。 ・女子の県平均記録で課題が残っている。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回にわたって体力テストを実施することで児童に柔軟の意識をつけることができた。 ・県平均を上回った割合が1学期から3学期にかけて66.6%増えた。 ・日々の体力アップトレーニングの継続だけでなく、計測時にポイントを押さえる必要がある。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の体力アッププログラムで、フロントランジを取り入れることで、下半身の強化を図った。 ・県平均を上回った割合が1学期から2学期にかけて58.3%増えた。 ・どの児童も正しいやり方ができるように、ポイントをしっかり押さえる必要がある。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合				
男子	全国	93.5	男子	全国	82.5	男子	全国	90.1
	自校	94.7		自校	87.9		自校	89.5
女子	全国	85.8	女子	全国	80.4	女子	全国	82.8
	自校	83.4		自校	61.8		自校	68.6
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間のみんな遊びで、児童が主体的になって外での遊びを行っていることが、男子において全国の平均を超えることにつながったと考えられる。 ・女子児童は、全国の割合に対して低い結果になった。 ・誰もが楽しく運動ができるような場所づくりや授業づくりを意識していく。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は全国の割合を超えていたが、女子は全国の割合を大きく下回った。 ・引き続き、朝食を食べる習慣が身に付くように、あがり生活ウィークを実施する。 ・担任やその他の教職員からの声掛けをしていく。 ・保護者に朝食を取るものの必要性を伝えるとともに、継続的に連携を図る。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子と女子の両方とも、全国の割合を超えることができなかった。 ・外で遊ぶための取り組みが少なかったため、委員会やクラスでできる取り組みを考えていく。 		